



生活の土台である経済的基盤をしっかりさせる。それは、自分らしい暮らしにもつながります。人生 100 年時代を見据え、ライフステージに合わせた対象別マネー講座（全 3 回）で、安心な生活設計やお金の活用の仕方を学びました。

## 第 1 回



講師：愛媛県金融広報アドバイザー  
久保 賢司 さん

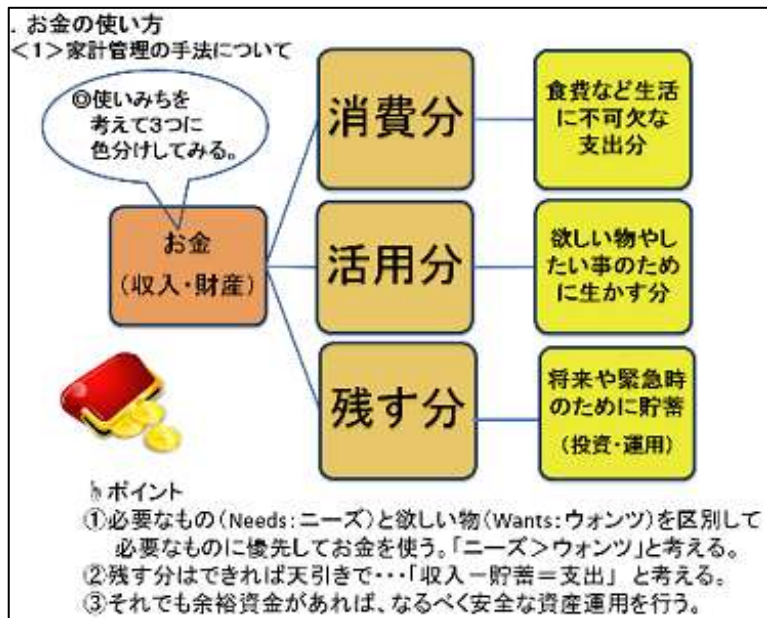
まず、勤労世帯の消費支出や、金融資産の保有状況、現在と老後のくらしに対する意識調査などの参考データを見た後、家計管理の手法や、貯蓄力を高める方法など、具体的なお金の使い方を教えていただきました。

「お金の関する興味、関心、意識を持ちましょう。収入や支出を見直すことも、資産運用を考えることも、コツコツと地道に長く続けることが大切。そのためには、無理のない範囲で少しずつ、できることから始めましょう。」と話されました。



## ● 講座の一部をご紹介します ●

- お金にまつわる状況や、考え方、使い方は人それぞれ。ただ、誰しも人生や生活においてお金の問題は切り離せない。
- 自分の収入を把握しよう。
- 収支を管理して貯蓄力を高めよう。
- 支出の見直しをしよう。（保険などの固定費等）
- 意識付けのつもりで家計簿をつけよう。
- 投資運用は目先の利益を求めるのではなく、長期で考えよう。
- 「働く」ことは一番の資産運用。
- 転職や再就職する人が近年増加している。働き方、生き方は会社任せではなく、自分で考えてつくっていきこう。
- ライフプラン（生活設計）を柔軟に見直そう。
- 日本ファイナンシャル・プランナーズ協会のホームページの家計管理の便利ツールなども活用してみよう。
- お金の使い方を考える意味とは…  
安心して暮らせる、自分らしく将来に向かっていける等。



## ● 参加者の声 ●

家計簿管理やキャッシュフロー表の入力をしてみます。そして、夫婦で話を共有してみます。  
(30代・女性)

今後を考える参考材料になりました。  
(20代・男性)

今後自分が、行うべきことが分かりました。  
(40代・女性)

堅実なお人柄のにじみ出た講義で、安心して拝聴しました。お金に対して興味、知識、意識の重要性が根本から認識できて良かったです。  
(70代・女性)

# 上手に使おう！お金と物

## ～お小遣い帳のつけ方から

## お金の使い方を学ぼう～



講師：愛媛県金融広報アドバイザー  
武田 咲枝 さん

### ● 武田さんからお子さんへ ●

- どの商品を買うか、正解はなし。考えて買うことが大切です。
- お金を上手に使うポイントは、計画を立てること。何をどう使ったかがわからないのが一番良くないこと。
- 私たちがもらっているお小遣いは、お父さんやお母さんが働いて得た収入です。家族に感謝して大切に使いましょう。
- お金はどんどん湧いてくるものではなく、限りがあります。
- ものを買うときは、それが本当に「必要なものか」「欲しいもの」なのかをよく考えて無駄遣いをしないようにしましょう。
- ゲームを参考に、家族の人と話し合ってみましょう。
- お金は、自分のために買い物ができる、価値がはかれて、貯金ができます。その他に、誕生日プレゼントや募金など、人のために使うこともできます。絶対にしないといけないわけではないけれど、自分のためのお金を管理して、余裕があれば募金なども考えましょう。

第2回は、班に分かれて、サイコロすごろくゲームをしました。模擬紙幣を使って、消費活動しながら、それぞれお小遣い帳を記帳していきます。買うか買わないか、どの商品を買うのか、子ども達同士で、また、保護者の方と一緒に考えたり相談したりする姿が見られました。

ゲームを終えた保護者の方は、「お金を残そうとする様子や、自分は節約をして、人のためにお金を使おうとする子どもの性格が分かりました。」という感想や、「今日の子どもの様子をみて、お小遣い制にしてみようと思います。家族と話し合ってみます。」という声も聞かれました。

「楽しかったですか？よく考えられましたか？」との質問に、ほぼ全員が手を挙げたお子さんたち。ゲームを通して、改めて親子でお金の使い方を考えることができる時間となりました。

今、必要なノートは1冊です。どのノートを買いますか？

グリーンマーク入りのノート 100円



キャラクター入りノート 100円



3冊セットノート 240円



おこづかいゲーム										
8月の予定										
日	月	水	木	金	土	日	月	水	木	金
3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31				



### ● 参加者の声 ●

お小遣い帳のつけ方が、子どもにもわかりやすく、試しにやってみてもいいかと考えさせられました。  
(30代・女性)

「ゲームを通じて成功、失敗体験をすることで、現実でもお金を正しく使える人になってほしいと思いました。」  
(30代・女性)

「これからお金の管理を自分でさせることが大切だなと思いました。参加して良かったです。」  
(40代・女性)

「ゲームがとてもおもしろかったです。お金を大事にしたいなと思いました。」  
(4年生・男子)



# 第3回

## これから始めるマネープラン

### ～教育資金とライフプラン～

第3回は、乳児から小学生のお子さんがある保護者の方が対象でした。まずは、子育て世帯の教育資金づくりにあたって、実際に必要な進学費用や、奨学金についての考え方、高度成長期や親世代との違いや、必要な教育資金づくりの目安の立て方などを教わりました。特に子育て中の女性はパートからフルタイム勤務への切り替えなど、ライフプランとキャリアプランが繋がっていることも学びました。

実際に、マネープランシートを作成し、自分の家庭状況を記入された参加者の方からは、「実際に数字を入れてみて、どう取り組むか明確になった。」という感想も寄せられ、現状を把握して、今後の課題を見つけるよい機会となりました。

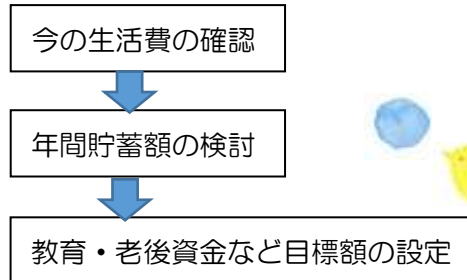
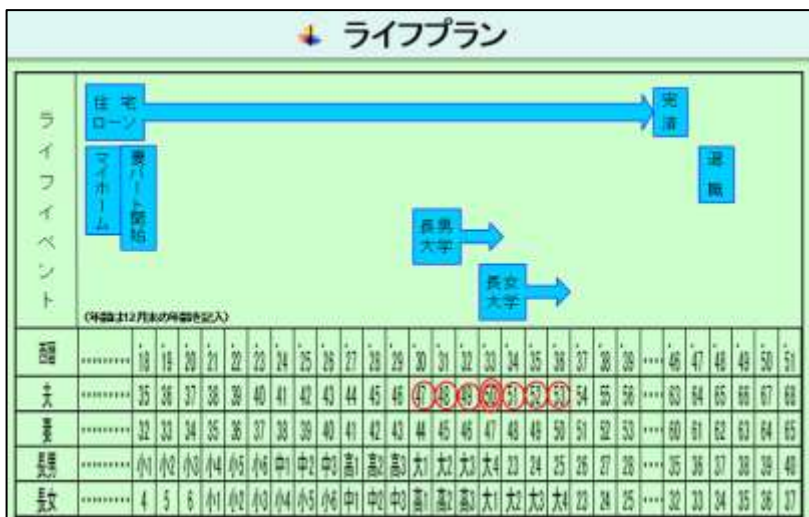


講師：愛媛県金融広報アドバイザー  
二宮 しおり さん



#### ●講座の一部をご紹介します●

- ・子どもが18歳までにどれくらい教育資金の準備ができるか、目標額を決めましょう。
- ・目標額は個人で違います。
- ・年間の貯蓄額を把握しましょう。
- ・「漠然とした不安」を「明確な不安」にしましょう。



#### ●参加者の声●

自分の家計の状態をきちんと把握した上でプランを立てる必要があることを改めて感じました。  
(30代・女性)

具体的なプランを立てて考えることによって、より必要な資金についても考えられるようになりました。  
(40代・女性)

ライフプランをより具体的にして、家族で共有して、お金のことをよく知る機会にできました。目標額に対して行動していきたいです。  
(40代・女性、夫婦でご参加)

教育資金のみ考えていましたが、老後資金についてなど、視野を広く持てました。  
(30代・女性)